

1993~'94 R1会長テーマ

行動に信念を
信念は行動に



ROTARY INTERNATIONAL

BELIEVE IN WHAT YOU DO
DO WHAT YOU BELIEVE IN

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

District 2760

ガバナー月信 1993.11

NOVEMBER NO.6

国際ロータリー
第2760地区



去る10月16日(土)名古屋名北RCホストによる 名古屋第二分区分 INTERCITY MEETING
がホテル・ナゴヤキャッスルに於て盛大に開催されました。

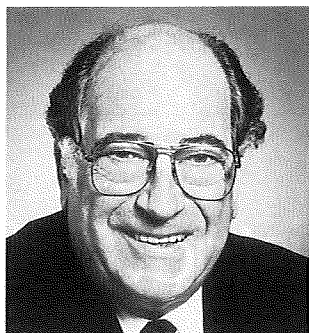
第2760地区 ガバナー 1993-'94 宮地 信尚

〒442: 愛知県豊川市豊川町辺通4-4

豊川商工会議所会館内

TEL.(05338)5-4500

FAX.(05338)5-6005



1993- 94年度 R.I. 会長メッセージ

「あなたはロータリーのメンバーですか？
それともロータリアンですか？」

8月4日ーR.I. 会長ご夫婦歓迎晩餐会での講演よりー

1993～'94年度 R.I. 会長 ロバート・R・バース
訳、校閲 玉村文夫（第2580地区パストガバナー）

「草の根レベルでの相互理解を」

数週間前、テネシー州において、日米のロータリアンの皆様が「いかにしてロータリーを通じての友情の絆を強化することが出来るか」という討論をなされているところに立会いました。その会議は楽観的な雰囲気になり、日米のロータリアンは、その友情を共に分かち合えるものだということが確認されました。

私は栗山駐米大使の「両国の生活様式や特徴を理解することにより、われわれ子孫の平和を願うことが出来るのではないだろうか。しかし、この努力は草の根レベル、民間レベルでの交歓がなければ達成出来ません。ロータリーのこの会議が草の根レベルでの理解を増進するために必要でしょう」と述べられたのに感動致しました。

この会議はロータリーをより国際的にする素晴らしい一步でありました。ロータリーでの日米間の関係は模範的な友情関係と言えるでしょう。二つの異なる文化がより緊密に結ばれる機会を探っており、それが出来るという事を世界に示しています。

他人への不寛容が悲劇を生む

私もロータリアンの一人として、不寛容、寛容の無さをなくさなければならないと思っています。最も悲劇的な実例がユーゴスラビアでの騒動です。人々はお互いの相違点を許すことが出来なかったのでしょうか。

ドイツの詩人、画家でもあったウィルヘルム・ブッシュはユーモアをもって人間の理解について次のように述べています。「違う背景をもった人に会った時、人間はこう考える。

自分と同じ様に考えることが出来ない人を“馬鹿だ”と。自分と同じ様に感じる事が出来ない人を“とるに足らない人間だ”と」

ブッシュは1908年に亡くなっていますが、今日現在もこの様に不寛容で人間の相違を認めない人が何と多いことか…。私達ロータリアンの理想は、より人道的な、より実りの多い人間関係を作り出すことであります。

ロータリーの会員に2種類

ロータリーには二種類の会員がおられます。一種類の方は例会には出席され、必要な会費は納められ、ロータリーの諸活動には耳を傾け、必要なら資金も提供される。しかし例会が終れば一週間ロータリーのことはお忘れになる。もう一種類の方は同じ様に例会に出席され、会費を支払われます。しかし絶えず心を開いて、いかにして人のために役立とうかと考えておられます。皆様はどちらでしょうか。前者はロータリークラブのメンバーに過ぎず、後者の方こそロータリアンであります。

それでは、ロータリアンであるということはどういうことか一緒に考えてみましょう。皆様、この一年間ロータリアンであるためにはどういう機会があるかお考え頂きたい。私にとってロータリーのメンバーであるということはどういう意味があるかご説明致します。ロータリーでは“Service（奉仕）”という言葉をよく使います。私のロータリーの経験から、“Service”という言葉を超えたところに意味を見出したいと思います。

信頼に足る、手伝う用意のある人達

私がロータリーバッジをつける時は「私は

信頼出来る人間です。私は皆様のお手伝いをする用意が出来ております。私は得るものよりも与えるものを多くしております。私は価値を高めます」という心構えでおります。ロータリーの呼称はこの様に、信頼に足る、人を手伝う用意のある、しっかりとした人達のこと、この方達は自分が得るより多く与え、その価値により高く評価されているのです。

短い事例を述べましょう。私が最近インドを回った時、ある医師が私を訪ねて来て「貧しい患者がスイスでしか求められない薬を必要としているので何とかして欲しい」と頼まれました。私は「努力してみましょう」と約束しました。スイスへ帰り早速同じクラブの医師に相談しました。彼は、やはり同じクラブの薬剤師に連絡をとり、薬はクラブが負担することになりました。この薬は要冷蔵で運ぶのも大変でしたが空港まで運んでくれる人を見つけ、デリーまで旅行される人を見つけ、デリーの空港で現地のロータリアンに迎えに来てもらい、多くのロータリアンのご協力により、最初に私に頼まれた医師の手許に無事届けることが出来ました。私が申し上げたいのは、私が良いロータリアンであるということではなく、いかに多くのロータリアンが参加してネットワークを組み仕事を達成したかということです。その方々は手伝う用意があり、信頼するに足る方々であり、実際に行動して下さいました。本席の中にもロータリアンとしてこの様な経験をなさった方がいらっしゃると思います。

質の高い奉仕で応える

ロータリアンは質の高い奉仕を致します。私達実業に携っているものは、お得意様のために最高の品質の製品を提供したいと心掛けております。私は清涼飲料水の会社を経営しておりますが最近、品質管理の非常に厳しい検査に合格致しました。これを行ったスイスの民間機関が次のように評価してくれました。「あなた方は何をするにしてもお客様に高い

品質への期待を満たしている」と。同様に私達は品質の水準を高め、ロータリアンに対して人は質の高いサービスを期待してくれる様になりたいものだと考えます。

私達はいろいろな人に会いますが、別れるとき、何か得るもんがあったと感じて頂きたいのです。それは“ほほえみ”あるいは“聞く耳”または“助言”かもしれません。そして私達は、期待された事について最高の質をもって応えねばなりません。品質とは知性のみならず、感性も含みます。私達は、知性のみ頼らず、良い人間関係を作ろうとするならば心が必要であり、信じなければなりません。皆様はロータリーを代表され、地域社会においてその評価を高める責任があります。

人生を高めるブランド

皆様はロータリーをブランドとしてお考えになった事はないでしょう。しかしロータリーは一つの製品と結びつけられるのではないのでしょうか。その製品は人生を高めるのもであると云えます。評判の良い会社は品質の高い製品を作り、そのことで世間の尊敬を得ます。ロータリアンも同じように地域社会の尊敬を得るためには、私達は手伝う用意があり、得るものより与えるものを多く、信頼出来る人間であるということを示さなければなりません。この一つの例は、日本においての米山奨学金制度という業績によって地域社会に多くの価値を与えておられることです。

昨年度は35カ国、800人の外国人学生に奨学金を与えられました。800人の学生は日本人の精神の寛容さと文化の豊かさを学び、生涯忘れ得ない経験をしたと思います。最終的には私達の方が国際的友情から得るものが多かったと思います。

手を使った奉仕活動しよう

本年度私が焦点を当てたいことは、ロータリアンの手を使った活動的な奉仕であります。スイスの新聞が最近私にインタビューしました。そしてその記事が出たとき、見出しに

「最も必要なときに、ロータリーは最良の力を発揮する」とありました。私はロータリーが一番必要とされる時こそ、ロータリアンはその優れた性質を発揮されるものと思います。

私は世界のロータリアンで自分の手を使い活動をしておられる方々、RAC、IACのような組織で、肉体的な行動により奉仕をされる方々に拍手を送りたいと思います。

最近「ロータリーの友」に載った記事なのでご存知の方もいるかと存じますが、事例を紹介しましょう。小高の小川正典先生は自動車事故に遇われました。痛みを感じ乍らも、入院せずに自宅へ帰られました。ところが痛みが激しく、友人の病院理事の渡辺先生に連絡を取り“ネックブレース（コルセット）”を一つ頂きたいと頼まれました。渡辺先生はご自身で小川先生のご自宅を訪ね、ご自身の手ではめてあげられました。実際に自分の手を使い、自分の友人のロータリアンを助けてあげられた。小川先生がおっしゃるに「患者が自分を助けてくれる人間の手の温かさ、ぬくもりを感じたとき非常に心丈夫になり、回復を促進するのではなだろうか。自分は医師であり乍ら、患者になって初めてこの事が解かった」と。

手を使った活動は橋をかけることが出来ます。それは我々ロータリーにある世代差のギャップを埋めるものです。若い世代の方々はロータリーの理想は共有してくれますが、全く違う世界に住んでいます。手を使った活動をクラブが行うことにより、多くの若い人をロータリーにひきつけることが出来ます。年配者は自分の手を使うことによって若さをとり戻すことが出来、老若共に活動することによって一体感を強め、接点を作り、クラブを強化します。

楽しいくつろいだ気分 <Gemütlichkeit>

本年度、私が強調したいことはクラブライフの文化であります。人々はロータリークラブでアットホームな気持ちになって頂きたい。

そこには若い女性も、若い男性も若い家庭も含まれます。スイスでは友人達が集まる時“ゲミュートリッヒカイト, Gemütlichkeit”と言いますが、友人、仲間といる時の何とも楽しいくつろいだ気分を表現する時の言葉です。私達ロータリアンと共にいる席ではこのような気持ちでいたいと思います。その様な雰囲気を作り出すことによってはじめて若い方々をロータリーにひきつける事が出来、若い世代の人達は単なるメンバーでなく、ロータリアンとして成長したいと願うでしょう。彼等は真のロータリアンになってくれるものと思います。

信じるどころ実践してこそ

ご承知のとおり今年度のテーマは「BELIVE IN WHAT YOU DO, DO WHAT BELIVE IN 行動に信念を…信念は行動に」であります。皆様の行う行動を皆様は信じなければなりません。そして皆様の信じるどころを実践してほしいということであります。

歴史の中に、ある時代には誠に荒唐無稽と思われた一つのビジョンを多くの人々がそれを共有して実行したために現実した例がたくさんあります。私達は信ずるだけではいけません。行動しなければなりません。そしてロータリアンは行動する人々であると私は考えております。私達ロータリアンにとりまして、意味のある行動をする機会はたくさんあります。ロータリアンは信頼するに足り、手伝う用意が出来ており、価値を高めるものであり、多くを与え少なくとる人間であります。そしてそれにより世間で評価されているのです。

「私は、ロータリアン」

どうか皆様、ご自身にたずねてみて下さい。「私はロータリークラブのメンバーなのか、ロータリアンであるのか」私は皆様は是非次のようにしっかり答えて頂きたいとお願い致します。

「私はロータリアンである」と。

ご静聴ありがとうございました。

(ホスト 東京日本橋ロータリークラブ)

ロータリー財団月間

ロータリー財団月間にあたって



地区ロータリー
財団委員会
委員長 星野 充

11月です。今月はロータリー財団月間です。「財団は世界理解と平和を追求するロータリーの大事業である。それにもかかわらず財団の意義と実績を正當に認識していないクラブや会員がいる。よって……」とR.I.では、この月間にこと寄せて「財団のすべて」の周知を計り、一層の理解と関心をもつよう強調することを求めています。

いまさらの感ですが、あえてR.I.のお先棒を担いでみます。

当地区財団委員会活動の大きな柱は、R.I.への「寄付金拠出」、地区が選択した財団プログラムの「奨学生」、奨学生の縦断横断的組織の「学友会」であります。

1) 財団への寄付金

先月R.I.から接手しました前年度の財団寄付最終確定レポートの一部をご紹介します。

一般寄付は569,429ドル（世界501地区中7位）、これに指定寄付金12,025ドル、基金14,000ドルを加えた寄付金総合計595,454ドル（6位）、1人当たり101.35ドル（29位）でした。

昨年5月の地区協で、財団への寄付を1人100ドル、地区50万ドルと勝手なお願いを申しあげましたが、上記のようにそれぞれクリアしたのは、日頃の格別のご理解、ご支援の賜物と深甚なる謝意を表します。

2) 奨学生（正しくは国際親善奨学生）

ロータリー四大奉仕部門の一つである「国際奉仕」の濫觴が財団であり、財団のメイン事業が教育的事業、そのメインが奨学金であ

るを思えば、選択肢プログラムとしての「奨学生」は永遠至高のプログラムであろうと思います。ロータリーの奨学金、奨学生が世界的に高い評価を得ていますのは、世界中で24,200人、日本で3,911人という量もさることながら、質においても例えば、国連の緒方貞子難民高等弁務官をはじめとし、政官財各方面に幾多の逸材を輩出してきました。なお当地区からは158名を世界に送り出しました。

シェアシステムも実質運営第2年度に入ります。第1年度は1年間奨学生（10名）マルチ2年間奨学生（4名）を決定しましたが、未経験で危惧して選択した2年間コースに量として8名を、しかもすべて博士課程中の優秀な研究者をえての厳選でした。マルチコースは世界で僅か69名しか選択募集しなかったもので、当地区の4名は堂々5.8%を占めるという快挙で終わったのはラッキーでした。

うれしい報告を一つ。ことしの地区奨学生合格者のなかにTOEFL677点の女性がいたことは、驚きであり喜びであり、如何にロータリー財団奨学金制度が高い社会的評価を博しているかの証左であります。TOEFLの採点方式では、総合変換点が677点を超えることはない、即ち677点は最高点なのです。

近く、次の財団プログラムの選択決定がなされますが、あるいは前年度路線の踏襲ということになるかと推測されます。

最近、奨学生志望者から募集要綱の問合せが目立って多くなり、一まず先回の要綱、コースのあらましなどを参考資料として送付していますが、手ごたえ十分の感じです。

3) 学友会（財団奨学生とOBの会）

学友会会員名簿の整備——文書不看即ち住所変更未届け会員の多いこと、これを探索し、名簿を補正する難事業、地区分割前の長野県関係学友会会員の移管、これにともなう学友会永久会費会員の資金移管、年数回の学友会、新合格者にOBを交えての留学ガイダンス等々裏方的奉仕が意欲的に行われています。

ロータリー財団月間

ロータリー財団奨学金について



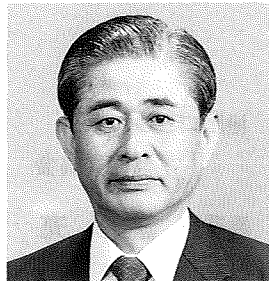
地区財団奨学金
(小)委員会

委員長 小出 忠孝

11月はロータリー財団月間である。R財団の中で最も重要なプログラムは国際親善奨学金であるが、毎年70ヶ国以上の学生に約1,000件の奨学金（総額約2,000万ドル）を授与し、民間団体の国際的奨学金プログラムとしては世界最大の規模である。この奨学金の目標は、次の世代を担う優秀な若人に、外国滞在の経験を与え、例え言語・習慣・宗教その他が異なっても、人間の心底には善意と友愛があることを体験させ、彼等に国際理解と親善、世界平和の実現を託そうという遠大な計画思考にある。その点に財団国際親善奨学生は勉学・研究に励むと同時に、民間の「親善使節」として、自国と留学国との間の理解と、友情のかけ橋として奉仕することに、大きな特徴をもっている。

R財団では1994～'95年度よりシェア・システムを導入した結果、R財団奨学金も従来の1学年度奨学金の他に、新たに2～3年の留学で学位取得を目的とするマルチ・イヤー奨学金が導入された。当2760地区でも慎重に審議を重ねた結果、94～'95年度奨学生として1学年度奨学生10名と2年間奨学生4名を7月の選考試験で決定し、R財団本部へ推薦した。この奨学生数は会員の皆様の財団寄付の額で決まります。皆様には、21世紀の日本を背負って立つ優秀な若人の育成のため、1人100ドル財団寄付運動を推進されると共に、優秀な奨学生（TOFEL 550点以上）の推薦にも今迄以上のご協力をお願いする次第である。

ロータリー財団学友について



地区財団学友会
(小)委員会

委員長 矢島 茂

当地区のロータリー財団学友は、1958年に名古屋西クラブ推薦の宮田絹栄さん（現在の姓は村上）をボストン大学へ、財団奨学生として派遣してから、この35年間に168名の奨学生と、7名のGSE参加者を海外へ送り出してまいりました。今年度合格の奨学生14名を加えますと学友会の会員は、189名に達しますので、世界でも有数の学友会規模の地区になると思われます。

この財団学友の皆さんは、留学から帰国後も、国際親善使節としての役割を引き続き実践して行きたいと望んでおり、学友175名のうち海外在住者は、留学中を含め57名で約3分の1の方が海外で活躍されています。また、日本国内在住の方も、なんらかの形で国際理解と親善に貢献されているのであります。

前年度には、この学友の名簿を正確かつ最新ののものにするため、各クラブに調査をご依頼しましたが、案内状を出しても不先で戻るなど、実家との連絡もとれない方がいることは誠に残念であります。

今後、毎年11月のロータリー財団月間を迎えるに当たり、各クラブ推薦の学友と連絡をとっていただき、元奨学生、元GSE参加者を招いた例会を開催していただきたいと思います。21世紀の日本を背負って立つ学友の皆さんを激励し、育成し、そして留学後の社会人としての活躍状況をフォローすることにより、ロータリー財団寄付の意義を一層深めていただきますようお願い申し上げます。

地球環境保全について



地区環境保全
(小)委員会
委員長 田中清隆

今年度地区協議会の分科会（社会奉仕部会）において、各クラブに環境保全に関するアンケートを求めた。

回答は59RC（82%）、そのなかで「環境保全委員会」をもつクラブは25で、設置率は約40%であった。

最近2～3年間に行われた、環境保全の事業についての回答・緑化関連20。530、清掃、整備20。啓蒙活動（講演、卓話、地域フォーラムなど）11。河川浄化、水質管理8。リサイクル、省エネ推進5などで、計64であった。

ただしこれらは複数回答なので、実際には何の取り組みのないクラブが、かなりあることになる。

なお、今年度の事業計画については、ほぼ前年通りというクラブが多い。また、計画未定というクラブの他に、「特に無し」と回答されたクラブも、少なからず見受けられた。

ところで、「環境保全」という問題は極めて難しい。現在、地球的な規模で進行している環境破壊の原因には、ざっとあげてみても、オゾン層の減少とオゾンホール、地球温暖化、熱帯雨林と砂漠化の問題、酸性雨、有害廃棄物による水質、土壤汚染等々がある。

そしてこのような問題の解決には、個人的、地域的には勿論のこと、一国家的にも、完全に対応することは困難であり、地球的な視点にたって、全世界各国が協調して対策をたて、実行する以外にはない。

たとえば、オゾン層破壊の原因であるフロ

ンについては、'93年11月の国際会議で、'95年末迄に全廃することが決議された。その結果、少なくとも先進諸国においては、年度内の完全実施に向けて各企業共、その対策をたてているようである。

ひるがえって、われわれロータリアンは、地球規模的な環境問題についても決して傍観視することなく、いかに些少なことであろうとも、個人的、企業的に出来得る限りの努力をすることは当然である。

そしてもう一つ必要なことは、このような危機的な環境問題について、ロータリアン一人ひとりが、つねに正しい認識と、新しい知識をもって、それを自分たちの周囲に十分に啓蒙することである。世界中のロータリアンが、環境問題について地域を啓蒙し、リードしていけば、やがて世界的な世論のたかまりになることは間違いないと思う。

ところで、今年度地区協議会の手引（社会奉仕用）のページには、環境保全について、次の6項目があげられている。

1）緑化。2）有害廃棄物の処理。3）清潔な大気。4）水質管理。5）再生利用。6）動物保護である。

さて、これ位のことなら、せめてこの中の一つや二つは、ロータリアン個人的にも、あるいは、クラブ単位でもかなり実行できるはずである。

実際に当地区内のクラブで実施されている、これに関連した事業をアンケートの中から取りあげてみる。植樹、苗木の配布。地域と共に530運動、観光地での持ち帰り用ゴミ袋の配布。例会での冷・暖房節減。河川にコイ放流、ホタル飼育で水質管理。リサイクルバザー、再生紙の会報、名刺利用。また、啓蒙活動としては、豊橋ゴールデンRCが主催された「東三河青少年環境サミット」の一大イベントがある。

年度下半期にかけて、各クラブの一層のご盡力を期待いたします。

公式訪問だより



岡崎城南 R C

1993年

9月21日 (火)

会長 中根啓式

幹事 四十万谷与志

会員数 74名

<会長の目標>

- ①各委員会の有機的活性化。
- ②創立5周年記念行事の成功。
- ③11月の地区大会（親クラブの岡崎南 R Cホスト）に全員出席。
- ④出席率100%を常識とする。
- ⑤交換留学生の派遣と受入の積極的推進。



名古屋南 R C

1993年

9月22日 (水)

会長 上田康雄

幹事 鈴木輝彦

会員数 126名

<会長の目標>

- ①会員の意見、他クラブの情報を集め、時代と地域の要請に応える奉仕活動。
- ②例会、各種公式会合、趣味の会、その他親睦の機会をひろげる。
- ③会員増強を図り、会員の質を向上させる為の広報活動を活発化。



豊田西 R C

1993年

9月27日 (月)

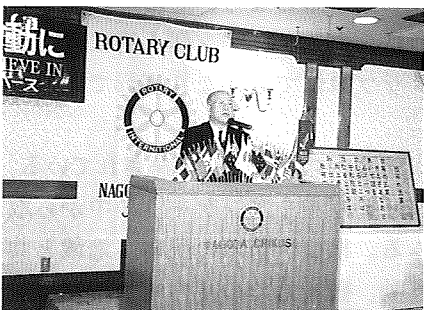
会長 鈴木照雄

幹事 石川 進

会員数 103名

<会長の目標>

- ①ロータリー文庫へ図書への寄贈継続。
- ②国際奉仕活動の推進。
- ③出席率の向上と楽しめる例会づくり。
- ④地域諸団体への適切な協力活動。
- ⑤親睦と友情を深め、地域に認められる事業の推進。



名古屋千種 R C

1993年

9月28日 (火)

会長 黒野貞夫

幹事 山本眞輔

会員数 68名

<会長の目標>

- ①クラブの充実と活性化を図る。
- ②出席率を高める。
- ③会員の増強を図る。（特に未充填の職業について）



名古屋西 R C

1993年

9月30日 (木)

会長 岩間俊夫

幹事 児山國男

会員数 148名

<会長の目標>

- ①本年度創立40周年記念を迎えます。50周年に向かって活力あるロータリークラブとして、新生すべく「原点回帰」をテーマに40周年記念事業の成功。
- ②40周年記念実行委員会に、四大奉仕各委員会の力を結集。



豊橋ゴールデンRC

1993年

10月1日(金)

会長 石田喜運

幹事 久保田裕明

会員数 80名

<会長の目標>

- ①創立以来の業績の継承と発展(100%出席、WC S活動。財団と奨学金協力)
- ②楽しい例会、育てよう奉仕の心実践。
- ③バランスのとれたクラブ業績賞の為の研究と実践の展開。
- ④創立5年記念事業の目標達成。



知多RC

1993年

10月4日(月)

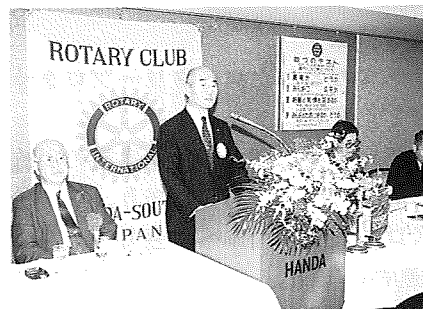
会長 竹之内資郎

幹事 近藤正夫

会員数 51名

<会長の目標>

- ①“知る、楽しむ、広める”を本年のテーマとする。
- ②会員増強、親睦の促進。
- ③青少年に地球緑化、環境保全思想啓蒙。
- ④高齢者在宅ケアの助成。
- ⑤薬物乱用防止キャンペーン。
- ⑥RYLAに参加、合同演奏会助成。国際交流の場を提供。



半田南RC

1993年

10月5日(火)

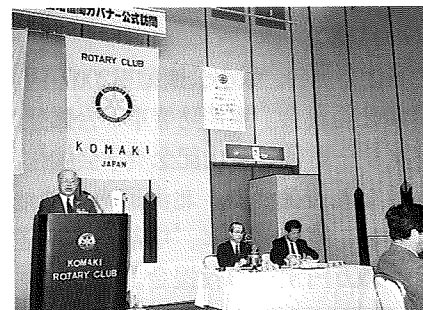
会長 澤田博光

幹事 榊原忠次

会員数 59名

<会長の目標>

- ①会員の親睦と増強(目標15%増)。
- ②各委員会活動を活発に、活力あるクラブ運営。
- ③半田港公園中央ロータリー部にプレートの設置と保全処置。
- ④財団・奨学会の寄付の増額。奨学生、金根鐸君への支援。
- ⑤南佐久RCと交流。



小牧RC

1993年

10月6日(水)

会長 鵜飼昭彦

幹事 玉置政利

会員数 74名

<会長の目標>

- ①クラブ奉仕委員会の協力で充実した例会。
- ②会員相互の親睦と友情の輪の拡大、特に新会員との交流の場を作る。
- ③青少年の健全な育成の為、ローターアクトに支援。
- ④優秀な会員の増強につとめ、増員目標を5%とする。



豊田RC

1993年

10月7日(木)

会長 山内一生

幹事 荒木 徹

会員数 95名

<会長の目標>

- ①当クラブより分区代理の推薦と、I.M.実行委員長と協力。
- ②国際レベルの教育、文化的な交換活動の一環として、豊田市教育委員会後援で国際児童画展(世界15ヵ国より)を主催し、5,000名の観覧客動員。

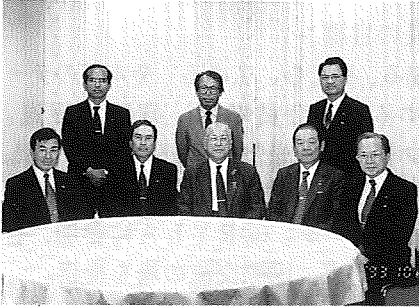
公式訪問だより



田原 R C
1993年
10月8日 (金)
会長 小嶋義雄
幹事 河辺純夫
会員数 72名

<会長の目標>

R.I.会長のテーマ“行動に信念を・信念は行動に”に従って、忠恕、友愛、心に奉仕を持って事業活動をする。
(忠とは、心の誠をつくす事。恕とは、相手の思いやり、自分にして欲しくない事は相手にもしない事の意。) 論語 (孔子)



田原パシフィック R C
1993年
10月12日 (火)
会長 山本勝彦
幹事 井上 健
会員数 58名

<会長の目標>

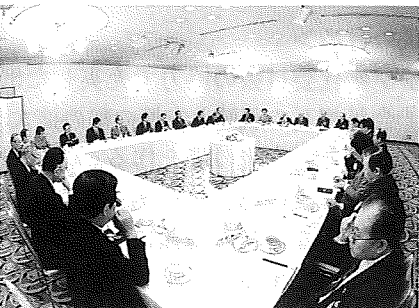
- ①夜間例会のロータリークラブとしてあまり解放的にならない様、品位のあるクラブに成長したい。
- ②財団、奨学会へのたゆまざる貢献。
- ③バランスのとれたロータリープログラムの推進。



渥美 R C
1993年
10月13日 (水)
会長 吉田忠彦
幹事 木村守雄
会員数 64名

<会長の目標>

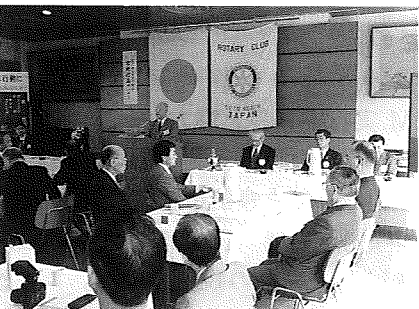
- ①バランスのとれたロータリープログラム第2年度。
- ②創立25周年記念例会、記念事業の実施
○魅力ある町作り、あつみ祭り、トライアスロン大会、国体への協力。
○530運動の実施。



名古屋北 R C
1993年
10月15日 (金)
会長 青木潤二
幹事 伊藤善朗
会員数 63名

<会長の目標>

- ①社会奉仕委員会。栄小公園植樹200万円。
- ②職業奉仕委員会。東消防署車一台贈呈。
- ③ロータリー財団、米山記念奨学会強化。
- ④積極的な義援金活動。北海道南西沖地震に対し、東海テレビ、中部日本放送に夫々10万円ずつの救援金。



瀬戸北 R C
1993年
10月19日 (火)
会長 加藤春鼎
幹事 梅村享祥
会員数 63名

<会長の目標>

- ①自前のロータリークラブをつくり、会員の品格を高め、親睦を深め、簡素で気楽な風格のあるロータリークラブを目指していきたい。
- ②創立15周年記念事業の実施 (10月31日) チャリティーコンサートの実施。

第2760地区ニュース・その他

1993～'94年度 R.I.第2760地区

名古屋第二分區

INTERCITY MEETING

◇と き 平成5年10月16日(土)

◇ところ ホテルナゴヤキャッスル

◇ホスト 名古屋名北ロータリークラブ

登録・受付 15:00

第1部 15:30～16:00 式典

第2部 16:00～17:10 講演

17:10～18:00 フォーラム

第3部 18:10～19:30 懇親会

—— I. M. フォーラム ——

「これからの日本を背負う

青少年の躰について」

リーダー名古屋第2分區代理 吉村卯一郎

ロバートR・バースR.I.会長は“ロータリアンは私達の将来が青少年の肩にかかっていると信じてます”と述べられています。これからの日本が良くなるのも、悪くなるのも青少年の肩にかかっているのですが、さてその青少年の現状はどうでありましょうか。

去る9月20日付の中日新聞の社説に、だれかが「ウソ」をついている。という記事。山形県の中学校で起きた“マット巻きいじめ死亡”事件はだれかがやっているはずなのに、だれも責任を認めようとしない、そのことを深刻に受けとめよう、と述べています。

それについて、子供たちに、他人の人格を尊び、自分の責任を自覚することを学ばせなければならない。そして気になるデーターとして総理府の世論調査では、躰など家庭の教育力が低下していると考えている人が75%に達し、警察庁の暴走族調査では40%強の親が見て見ぬふりだった。家庭が責任を果たしていないことを示している。

教育の責任は学校だけにあてはまるのではない、家庭も地域社会も協力して子供たちを

健全に育てなければならない。と結んでいます。

さて、最近中学生や高校生をはじめ、青少年たちのマナーが悪くなっていることは皆様もご承知のことと思いますが、それにも増して悪質な非行がなぜ起こり、また増えているのでしょうか。その原因の一つに、今日本で忘れられかけている“しつけ”の問題があります。青少年たちの精神面の健康が徐々に蝕まれている原因は色々ありますが、“しつけ”もその一つであります。日本では古来家庭内における良風美俗が両親から、或いは祖父母から、子供や孫に自然と受け継がれ、それが引いては社会秩序の維持につながっていたものが、最近の核家族傾向は家庭を無味乾燥なものにし勝ちであり、特に祖父母の孫達に対する良き“しつけ”が殆ど行われなくなっていることは、まことに嘆かわしい現象であると言わざるを得ません。精神作興の意味合いから、学校教育偏重を改めて家庭内教育、家庭の“しつけ”を重視するよう心掛けたいものであります。

さてどんな社会体制でも、人間と人間との付き合いには“ルール”が必要であります。人間は社会的な動物であり、団体の中でこそ生活できますが、孤独ではとても生きてゆけません。従って団体生活の中で各人に自分勝手な振舞を許しては、社会の秩序を維持することができないことは自明の理であります。最近の人たち、特に若い人たちは他人に迷惑をかけることを何とも思わない傾向にあります。個人の権利を主張するあまり、他人のことは考えないでは世の中うまくゆくはずがありません。そこで本日のテーマであります“しつけ”と言っても色々な遣り方があり、また各家庭でも異なった考え方、方法がありますので一概にこれといった決め手はないと思いますが、とに角そういう方向に持って行くにはどうしたら良いか、その糸口をつかんでみてはどうかと思うものであります。

第2760地区ニュース・その他

青少年交換について

「オリエンテーションをかねた交流会」

地区青少年交換(小)委員会 委員長 林 光雄

R.I.D2760地区青少年交換委員会は、平成5年10月22日～23日の2日間、交換学生の交流会を開催した。場所は三重県は美杉村にある「桜花学園美杉村林間学舎。」出席者は派遣帰国学生2名、受入外国人留学生11名及び1994～'95年派遣予定者12名の計25名。

秋晴れの青空の下、雲出川に沿って杉木立の間を縫いつつ、細い道を走って約3時間、山間の静かな学舎に到着したのは日もとっぷり暮れた6時。バスの中では、英語、日本語が混じりあって賑やかそのものであった。

その夜はことのほか寒く、さすがの若者も少し参ったようだ。夕食後7時より、受入外国人留学学生と、帰国・派遣予定者それぞれ2つのグループに別れてミーティングを行い8時に終了。以後入浴後自由時間にしたが遅くまで話が弾んだようだ。

翌24日6時起床、7時朝食、8時より10時まで、アメリカセントラルステーツにおける、各国からきた交換留学生の交流風景のビデオを鑑賞し大いに参考になったと思う。

10時学舎を出発、名古屋へ帰ったが、別れを惜しむのなかなか解散しなかったのが印象的であった。

出席された木本、神田両委員ならびにお世話をいただいた大谷委員に心より感謝申し上げます。

1993～'94年青少年交換学生名簿

分 区	ク ラ ブ 名	氏 名	性別	派 遣 国	氏 名	性別	受 入 国
尾 張 第一	東 知 多	鈴 置 信 子	女	アメリカ	ERIKA OLSON	F	アメリカ
	東 海	村 瀬 充 倉 島 督	男 男	アメリカ アメリカ	CARRIE MCDERMOTT	M	アメリカ
名古屋第一	名 古 屋 大 須	藤 田 房 子	女	オーストラリア	SUSAN SIMOSKY	F	アメリカ
		磯 部 美 良	女	カナダ	MARGARET CHANDLER	F	オーストラリア
名古屋第二	名 古 屋 守 山	服 部 孝 雄	男	オーストラリア	JEFFREY WYSHYNSKI	M	カナダ
	名 古 屋 和 合				JERILYN DIETZ	F	アメリカ
東 尾 張	小 牧	石 田 剛	男	アメリカ	RYAN STEENBURG	M	アメリカ
西 尾 張	西 春 日 井	鴨 井 敬 恵	女	アメリカ	STEPHEN BJORKMAN	M	アメリカ
東 三 河	豊 川 宝 飯	坂 下 遊	女	アメリカ			
西三河第一	岡 崎 城 南	深 見 彰 子	女	アメリカ	MOLLY MECHAM	F	アメリカ
	岡 崎 南	中 崎 加 奈 子	女	カナダ	SARAH JOHNSTON	F	アメリカ
西三河第二	高 浜	後 藤 恵 美	女	アメリカ	ROBERT LANE	M	アメリカ
		犬 塚 寛 子	女	アメリカ	ADRIAN BORRADALE	M	オーストラリア

1994～'95年・交換学生志願者

氏 名	学 校 学 年	推 薦 R C	氏 名	学 校 学 年	推 薦 R C
杵名まどか	岡崎学園高校 1年	岡 崎	細井梨絵	愛知淑徳高校 2年	岡崎城南
福井宏枝	光ヶ丘女子高校 2年	高 浜	小田敦代	御津高校 1年	豊川宝飯
鈴木美貴	光ヶ丘女子高校 2年	豊 田 西	岡戸秀樹	千種高校 2年	東 知 多
河合 舞	光ヶ丘女子高校 1年	岡 崎 東	鈴木雄一郎	名古屋学院高校 2年	名古屋大須
水野宏洋	東 海 中 学 3年	名 古 屋 東	近藤佐和子	愛知淑徳高校 1年	名古屋大須
清水里美	光ヶ丘女子高校 2年	岡 崎 南	藤田恵子	聖カピタニオ高校 1年	瀬 戸
村上和夏子	安城東高校 1年	安 城	山中威士	春日井南高校 1年	小 牧

ロータリー財団寄付額

1993年 6 月30日現在 (単位: \$)

分 区	ク ラ ブ 名	会員数	金額	1992. 7 ~ '93. 6
			1人当り	総 金 額
尾張第一分区	知 多	43	210	9,166.66
	半 田	73	106	7,750.00
	半 田 南	60	234	14,060.98
	東 知 多	54	97	5,275.00
	常 滑	66	70	4,640.00
名古屋第一分区	東 海	65	12	833.33
	名 古 屋	240	103	24,869.00
	名 古 屋 南	128	49	6,360.00
	名 古 屋 港	122	183	22,405.61
	名 古 屋 瑞 穂	96	87	8,425.00
	名 古 屋 中	150	126	18,903.35
	名 古 屋 西	157	39	6,241.81
	名 古 屋 大 須	94	48	4,538.46
	名 古 屋 名 南	66	102	6,750.00
	名 古 屋 名 駅	77	61	4,700.00
	名 古 屋 名 南	96	80	7,715.00
	名 古 屋 栄	62	53	3,320.00
	名 古 屋 千 種	66	93	6,200.00
	名 古 屋 東	116	138	16,111.00
	名 古 屋 北	109	138	15,083.00
名古屋第二分区	名 古 屋 名 北	71	91	6,502.69
	名 古 屋 名 東	70	57	4,000.00
	名 古 屋 守 山	96	123	11,853.84
	名 古 屋 昭 和	74	210	15,570.00
	名 古 屋 和 合	108	93	10,100.00
	犬 山	84	129	10,882.50
	岩 倉	44	12	570.00
	春 日 井	87	101	8,860.00
	小 牧	72	150	10,815.59
	江 南	71	125	8,885.45
東尾張分区	名 古 屋 空 港	73	95	7,000.00
	尾 張 旭	64	191	12,580.53
	瀬 戸	82	86	7,090.90
	瀬 戸 北	63	11	747.60
	豊 山 一 城	71	28	2,056.77
	あ ま	92	206	19,000.52
	尾 西	60	138	8,320.00
	一 宮	97	147	14,343.33
	桶 北	86	127	10,940.00
	桶 沢	64	60	3,901.33
西尾張分区	西 春 日 井	71	95	6,780.04
	尾 張 中 央	49	154	7,559.32
	津 島 中 央	96	99	9,577.45
	一 宮	65	112	7,305.00
	渥 美	65	116	7,555.05
	蒲 郡	79	56	4,499.23
	奥 三 河	41	144	5,916.66
	新 城	61	140	8,560.00
	豊 原	70	42	3,000.00
	豊 橋	128	87	11,189.00
東三河分区	豊 橋 ゴールデン	75	147	11,050.00
	豊 橋 北	115	33	3,810.00
	豊 橋 南	82	16	1,370.00
	豊 川	83	152	12,650.00
	豊 川 宝 飯	63	80	5,090.00
	田原バシフィック	54	118	6,400.00
	岡 崎	112	89	10,037.53
	岡 崎 東	80	93	7,494.80
	岡 崎 城 南	77	105	8,088.00
	岡 崎 南	101	80	8,175.14
西三河第一分区	豊 田	97	10	1,042.00
	豊 田 東	87	57	5,030.42
	豊 田 西	97	23	2,300.00
	豊 田 三 好	28	169	4,740.00
	安 城	87	54	4,700.00
	碧 南	78	179	13,978.00
	一 色	50	258	12,912.00
	刈 谷	90	70	6,333.33
	知 立	47	29	1,400.00
	西 尾	77	56	4,357.78
西三河第二分区	西尾 K I R A R A	53	132	7,000.00
	高 浜	48	128	6,184.66
	地 区 寄 付 金	0	0	12,000.00
合 計		5,875	101	595,454.66

おめでとう・新ポール ハリス フェロー

(9月分)

石 川 行 延	(一 色)
鈴 木 勇 三	(")
都 築 勇 一	(")
荒 木 徹	(豊 田)
堀 洋 一	(尾 張 旭)
加 藤 正 高	(")
大 森 一 人	(一 宮)

おめでとう・新米山功労者 (9月分)

井 上 達 夫	(碧 南)
鈴 木 利 範	(一 色)
須 賀 康 夫	(名古屋名東)
渡 辺 富 貴 男	(")
小 川 辰 男	(")
浅 井 恒 和	(豊 田 東)
大 内 勝 美	(")
鈴 木 豊	(")
平 野 正 見	(")
藤 井 清	(")
深 田 利 幸	(")
正 木 克 美	(")
米 本 益 栄	(")
村 橋 泰 志	(名古屋名東)
佐 野 清 司	(豊 橋)
池 田 憲 司	(刈 谷)
大 森 一 人	(一 宮)
石 原 忠 正	(名古屋大須)
竹 内 進	(")
松 井 章 悟	(豊 橋)
伊 藤 忠 弘	(名古屋和合)
太 田 博 之	(")
春 日 文 明	(")
柏 木 順 壺	(")
国 枝 寅 雄	(")
新 城 寿	(")
蜂 谷 弘 道	(")
古 川 徳 治	(")
松 原 忠 久	(")
吉 田 正 克	(")

おめでとう・新米山功労法人 (9月分)

名古屋コンテナ(株)	(名古屋瑞穂)
医療法人 クリニック豊橋	(豊 橋)

第2760地区ニュース・その他

青少年活動委員長会議

地区青少年活動委員長 内山 卯

◇と き 平成 5 年 10 月 18 日(土)

◇ところ 豊橋グランドホテル

◇ホスト 豊橋ロータリークラブ

地区青少年活動委員会関係委員会

〈11:00~12:00・12:00~13:00食事〉

クラブ青少年活動委員長会議

〈13:00登録・13:30~14:50会議〉

講演 「現代社会と青少年育成の問題」

講師 愛知大学前学長 牧野由朗氏

〈15:00~16:10〉

青少年奉仕活動は、青少年の指導育成活動と青少年の非行防止活動に大別されます。

指導育成活動は、インターアクト、ローターアクト、ライラを中心に行われているため、この会議では、これらの委員会を中心に活動報告をいたしました。すなわちライラ委員会は第2回ライラセミナーの開催要項を発表し、インターアクト委員会は、ハワイ研修旅行を中心にスライドを使用して活動状況を報告、ローターアクト委員会は、R.I.作成スライドによりローターアクトの紹介をし、ローターアクトクラブの増強と拡大を訴えました。

会議では、豊橋RC社会奉仕委員会が、青少年の薬物濫用防止活動からロータリー地域共同体(RCC)結成経過について実例報告をしていただきました。インターアクトクラブ、ローターアクトクラブを提唱していないクラブの青少年活動委員会には、是非とり上げていただきたいテーマと考えられます。

最後の講演会では指導育成の問題をとり上げ、愛知大学の前学長牧野由朗先生に「現代社会と青少年育成の問題」と題してご講演いただき、われわれロータリアンが、青少年の指導育成に際して理解しておくべき問題点をご指導いただきました。

1993~'94年度 R.I. 第2600地区

"地区大会" 開催される!

◇と き 1993年10月23日(土)・24日(日)

◇ところ 長野県飯田文化会館

◇ホスト 飯田南ロータリークラブ

第2760地区三井章義ガバナーのもと、R.I.会長代理、第3650地区(韓国)パストガバナー呉世重氏が出席され、流暢な日本語でスピーチをされました。多数のロータリアンが参加され、友好を深め、盛大に開催されました。

うこそ飯田へ ◎ 国際ロータリー 第2600地区 地区大会



インド地震災害特別義援金のお願い

去る9月30日未明、インドマハラシュトラ州シュラプル付近で起きた地震に依る被害は死者2万名をこすと見込まれ、建物・その他の破壊も被害甚大と報告されました事は、ご承知の事と存じます。

地区といたしましては、義援金募金案内を遅延した場合時機を逸すると判断し、度重なる事とは承知致しておりますが、各クラブのご理解と、ご協力を節にお願い申し上げます。

1993年10月14日 ガバナー 宮地信尚

R.I. 会長指名委員会の報告

1995～'96国際ロータリー会長指名委員会は、R.I. 細則に従って、その職務を遂行し、1995～'96年度国際ロータリー会長として、米国フロリダ州クリアウォーター・ロータリー・クラブの、ハーバード G. ブラウン氏を満場一致で指名したことを報告します。

1993年9月13日 N. プラット・セクレスト委員長

会長エレクト変更のお知らせ

名古屋名北RC幹事 佐々木五郎

当クラブの会長エレクトが、下記の通り変更になりましたので、お知らせ申し上げます。

新 会長エレクト（役員） 荒川 博司

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

10月4日 吉 水 宏 道（名古屋和合RC）
10月17日 熊 谷 勝 平（名古屋東南RC）
10月20日 竹 中 康 浩（名古屋RC）

R.I. 第2760地区ローターアクト

第4回部門別協議会

R.I. 第2760地区ローターアクト 地区代表 響尾忠彦
名古屋熱田ローターアクトクラブ 会長 鍋田直之
第4回部門別協議会 実行委員長 鈴木雅弘

◇日時 1993年11月14日(日)

◇会場 熱田神宮会館

◇ホスト 名古屋熱田ローターアクトクラブ

◇プログラム

10:00 登録開始

10:30 点鐘（開会式）

11:30 移動（分科会会場へ移動）・昼食

12:00 分科会（分科会終了後全体会会場へ移動）

14:10 海外研修結団式

14:25 クイズ企画「ローターアクト・カルトQ」

15:00 分科会報告（分科会リーダーによるパネルディスカッション）

16:00 点鐘（閉会式）

ロータリー文庫通信

〈第74号〉

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。 ロータリー文庫運営委員会 委員長 谷口 栄

ロータリー文庫1992～'93年度会計報告

（貸借対照表）

資 産		負 債	
現 金	82,237	雇用保険料預り金	7,701
普 通 預 金	5,717,832	社会保険料預り金	2,430
定 期 預 金	12,000,000	仮 受 金	50,000
（現金預金計）	17,800,069	（負債合計）	60,131
		正 味 財 産	
		次期繰越剰余金	17,739,938
（合 計）	17,800,069	（合 計）	17,800,069

（収支計算書）

収 入		支 出	
前年度繰越金	5,783,699	委 員 会 費	1,381,900
ク ラ ブ 協 力 金	36,897,600	業 務 費	2,643,150
コピー関係収受金	740,110	賃 貸 管 理 費	11,561,251
受 取 利 息	178,836	人 件 費	10,274,006
		次期繰越剰余金	17,739,938
（合 計）	43,600,245	（合 計）	43,600,245

ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館 7階 ☎ (TEL03-3433-6456・FAX 03-3459-7506)

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

分 区	ク ラ ブ 名	出 席 率	例 会 数	会 員 数			分 区	ク ラ ブ 名	出 席 率	例 会 数	会 員 数		
				'93年 7月1日	当 月	増 減					'93年 7月1日	当 月	増 減
尾張第三分 区	知 多	100.00	4	51	51	0	西尾張分 区	あ ま	99.74	4	93	96	+ 3
	半 田	96.85	4	65	74	+ 9		尾 西	94.71	3	63	63	0
	半 田 南	99.16	4	60	60	0		一 宮	100.00	4	93	93	0
	東 知 多	95.83	4	54	56	+ 2		一 宮 北	98.54	4	87	86	- 1
	常 滑	97.69	4	63	66	+ 3		稲 沢	98.44	3	63	64	+ 1
	東 海	99.23	4	66	65	- 1		西 春 日 井	97.16	4	68	67	- 1
	計	98.13		359	372	+13		尾 張 中 央	100.00	4	53	51	- 2
名 古 屋 第 一 分 区	名 古 屋	95.08	4	240	244	+ 4	東三河分 区	津 島	98.56	4	95	97	+ 2
	名 古 屋 南	98.30	4	131	127	- 4		一 宮 中 央	99.64	4	64	70	+ 6
	名 古 屋 港	100.00	4	127	125	- 2		計	98.53		679	687	+ 8
	名古屋瑞穂	100.00	4	99	98	- 1		渥 美	95.42	4	65	64	- 1
	名 古 屋 中	99.67	4	159	157	- 2		蒲 郡	97.51	4	80	79	- 1
	名 古 屋 西	98.12	5	153	151	- 2		奥 三 河	92.14	4	43	43	0
	名古屋大須	99.46	4	99	97	- 2		新 城	97.62	4	65	65	0
	名古屋名南	100.00	4	76	75	- 1		田 原	97.73	4	72	72	0
	名古屋名駅	97.25	4	79	82	+ 3		豊 橋	98.21	4	131	129	- 3
	名古屋東南	97.34	4	92	92	0		豊橋ゴールドン	100.00	4	80	80	0
	名 古 屋 栄	97.92	4	69	72	+ 3		豊 橋 北	99.53	4	115	116	+ 1
	計	98.47		1,324	1,320	- 4		豊 橋 南	98.10	4	85	87	+ 2
名 古 屋 第 二 分 区	名古屋千種	100.00	4	70	65	- 5	西三河第一分 区	豊 川	95.20	4	82	80	- 2
	名 古 屋 東	99.32	4	115	112	- 3		豊 川 宝 飯	95.77	4	68	69	+ 1
	名 古 屋 北	99.52	4	111	112	+ 1		田原パシフィック	98.70	4	60	58	- 2
	名古屋名北	100.00	4	71	78	+ 7		計	97.16		946	942	- 4
	名古屋名東	100.00	4	71	75	+ 4		岡 崎	99.74	4	114	113	- 1
	名古屋守山	98.71	4	94	87	- 7		岡 崎 東	98.96	4	83	82	- 1
	名古屋昭和	97.89	4	74	73	- 1		岡 崎 城 南	99.66	4	74	74	0
	名古屋和合	100.00	4	107	106	- 1		岡 崎 南	99.74	4	101	104	+ 3
	計	99.43		713	708	- 5		豊 田	98.76	4	95	95	0
	東 尾 張 分 区	犬 山	100.00	4	81	81		0	西三河第二分 区	豊 田 東	98.91	4	94
岩 倉		96.58	4	45	45	0	豊 田 西	98.20		4	103	100	- 3
春 日 井		100.00	4	84	85	+ 1	豊 田 三 好	100.00		4	29	27	- 2
小 牧		98.27	4	74	74	0	計	99.25			693	688	- 5
江 南		97.83	4	75	73	- 2	安 城	98.51		4	86	87	+ 1
名古屋空港		98.19	4	73	71	- 2	碧 南	99.04		4	82	83	+ 1
尾 張 旭		99.64	4	69	68	- 1	一 色	100.00		4	53	53	0
瀬 戸		98.71	4	79	78	- 1	刈 谷	100.00		4	90	95	+ 5
瀬 戸 北		98.30	4	63	63	0	知 立	100.00		4	52	50	- 2
豊山一城北		99.60	4	69	66	- 3	西 尾	98.05		4	84	82	- 2
計		98.71		712	704	- 8	西尾KIRARA	94.34		4	53	53	0
							高 浜	99.48		4	49	49	0
						計	98.68		549	552	+ 3		
地区内クラブ数				72 R C	'93. 7. 1 会員数	5,975名	増 加 会 員 数		24名				
					当月末会員数	5,973名	減 少 会 員 数		-26名				
					当月平均出席率	98.55%	差引純増会員数		- 2名				